

京都大学瀬戸臨海実験所振興会
水族館月報

NO. 137

1964. 1月(2月10日)

録 事

1月11日 宮地伝三郎会長は1月26日付にて停年退官され、同時に振興会会長も退かれる。後任は市川衛教授が実験所長と兼ねることに決定、本日会長及び後任会長米館を機に午後5時より寄宿舍にて歓送迎の会を催した。宮地会長は当振興会を足以来11カ年余の長きにわたり、会長として会の発展に尽くされた。その功績に対し厚く感謝申し上げると共に、将來の御健康と御幸福をお祈り申上げる次第である。

1月12日 参議院文教専門委員調査室工泉英司室長は当館視察のため米館、宮地会長・市川後任会長・大嶋監事・内海・時岡各委員と会談。

業 務 概 況

◎ 1月の入場者数

○ 水族館窓口発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
個 人	10489	1493	11982	87795
団 体	5777	7	5784	146733
小 計	16266	1500	17766	234528

○ 交通業者委託発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
明 光 バス	32191	902	33093	365380
自 浜 急 行 バス	3306	96	3402	39992
合 計	35497	998	36495	

○ 旅行斡旋業者委託発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
日本交通公社	1614	—	1614	29092
近畿日本ツツバ	388	—	388	9806
日本旅行会	843	—	843	3995
南海交通社	32	—	32	2518
日本通運KK	—	—	—	681
合 計	2877	—	2877	46092

合 計	54640	2498	57138	685992
累 計	637972	11831	—	685992
無 料	153	—	153	3771

◎ 1月の事業収入 (今年度累計)

観光券売上金	1960720	22,111,026
窓口券売	812430	7,160,667
明光バス観光券	929705	12,470,407
白浜急行バス観光券	98375	1,210,755
日本交通公社クーポン	67268	773,208
近畿日本ツリスト	16250	275,748
日本旅行会クーポン	34847	136,595
南海交通社クーポン	1845	61,517
日本通運KKクーポン	—	22,129
絵はがき売上金	58070	547,500
予金利子	—	317,194
手数料	142774	704,782
パンフレット払下	20	180
研究業績払下	—	750
魚菜払下	—	34,750
雑収入	—	5,403
諸施設改善積立金より繰入	—	2550,000
合計	2,161,584	26,271,585

※ 明光バス観光券未收分 @50 21217枚, @45 13335枚
 @25 825枚, @23 186枚

◎ 1月の支出

本部経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	39,043	430,290	
旅費	17,620	77,140	時間委託他
会議費	12,000	82,930	
事務費	60,000	499,711	
福祉厚生費	36,462	230,531	山路委員 送別会費他
社会保険料	17,500	11,396	
積立金	473,866	3816,649	
合計	640,741	5148,647	

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	334,851	3,649,368	
旅 費	340	34700	船賃
学業費	257,617	2,797,638	
営繕費	—	375,294	
公課保険料	13,221	168,048	
諸経費	103,107	1,912,688	館地旧舎裏 市川会長 歓迎迎会費他
合 計	709,136	8,937,736	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
旅 費	77,050	221,430	
研 究 費	—	45,622	
助成金	10,000	140,870	
刊行費	—	373,300	
役務費	—	609,107	
合 計	87,050	1,390,329	

臨時費

構 要	金 額	累 計
大津臨湖実験所創立50周年記念事業として寄附	300,000	2,900,000
合 計	300,000	2,900,000

支出合計

(今年度累計)

本部経費	640,741	5,148,647
水族館経費	709,136	8,937,736
実験所経費	87,050	1,390,329
臨時費	300,000	2,900,000
合 計	1,736,927	18,376,712

◎ 1月末現任高

前月よりの繰越	7470,216
今月の収入合計	2,161,584
今月の支出合計	1,736,927
現 任 高	7,894,873

◎ 前年反との比較

	1964	1963	増 減
入 場 者 数	57138	55668	+ 1470

水族館記事

- ◎ 7日 H水槽用新設濾過槽の再防水工事開始。→31日完成
- ◎ 12日 雑賀崎一本釣漁師より大ダイ2個体(60cm45kg)50cm,3kg)を購入。H水槽へ補充した。
- ◎ 14日 塚浦延縄漁師より大ドチザメ(145cm,16kg♀)1個体,ウツボ1個体を購入した。このドチザメは、24日に、23個体の子魚を産出した。ドチザメの産卵期は、普通春であるが、環境の変化で早産したものらしくて、子ザメは、まだ臍嚢を完全に吸収しておらず、その後数日の内に全滅した。また、親魚もお産の翌日に死亡した。
- ◎ 21日 網下知井本清四郎氏より、ヒクラゲ(今の高さ23cm)1個体を受贈、月末までN02水槽に展示した。真冬に熱帯性のこのクラゲがとれたのは珍しい。
- ◎ 26日 大阪の熱帯魚店よりエンゼルフィッシュ、胎生メダカ類等を購入。TF_{1,5,6} TF 1,5,6水槽へ補充し水草を追植した。
- ◎ 27日 富田川尻での餌エビ採集のさい、やせおとろえたアユ17個体を採集。河原には弱ったアユが、まだ多数認められた。落ちアユが1月下旬まで残っていることは珍しく、暖冬異変の1現象であろうか?このアユの1部を試食してみたが、アユ本来の香りや味とは程遠いものであった。また生殖巣は再吸収されたものらしく、かなり退縮していた。
- ◎ 29日~31日 夜間の干潮(潮位-12~-17)を利用して、海水取入管内清掃用マンホールの掘付工事を行なった。(高西組)取入口先端部より30m附近(満潮時の波打際附近)の砂浜で、導水管(内径50cmヒューム管)を掘り当てるのに苦心したが、無事に、導水管とマンホール(内径1.8mヒューム管)下端を固定することができた。
導水管上側の開口、マンホール蓋の取付作業は、春の大潮期に実施の予定。

① 1月の採集作業は27日の夜間採集(於南浜浜原堤附近, ムギイフシ, オヤビツチヤ, サラサエビ, ウミウシ類, アカウニ類等)と, 31日の採集(於動物園下のワジツボ, カメノテ類)の2回だけであった。

② 今月は異常に暖く, 取入口附近の水温は中旬に18℃を記録した。このため, 例年1月は, 串本, 勝海地方へ行く, 雑質時一本釣漁師が, 白浜沖で採集し, ホウキハタ, キツネダイ等の南方系種を含む魚類が多数入籍した。

主な購入水産物(★印は1968年4月1日以降はじめての入籍)

無脊椎動物: ★ヒクラゲ ★ノタイラギ, ハボウみがイ, フロアワビ, コウイカ
マダコ

魚類: ドクザメ マエソ ★ホシノエソ ヒメ ウツボ マハタ ホウキハタ
イヤゴハタ ヒラスズキ キカメキントキ フルマダイ イヌスミ マダイ
★アカイサキ シロアマダイ キダイ オキトラギス ★キツネダイ ホウボウ
(以下熱帯魚系より) レソドソードテール ★ライアテールモーリー ★フアンテールグッピー
エンゼルフィッシュ ★ラサハタ ★ワラスジリョウキュウスズメ

③ 1月31日現在, 飼育中の動物は, 総計567種(450個体以上)で, その内訳は次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は552種(328個体以上)。

カイメン類	3種	ワモ類	3種	イカ類	1種
ヒドロ虫類	2種	カブトガニ類	1種	タコ類	1種
ウミトサカ類	5種	ワジツボ, カメノテ類	5種	ウミシダ類	5種
ヤギ類	5種	エビ類	17種	ヒトデ類	4種
ウミエラ類	1種	ヤドカリ類	7種	フモヒトデ類	4種
イソギンチャク類	7種	カニ類	22種	ウニ類	14種
イシサンゴ類	12種	アメフラシ類	3種	マダコ類	6種
ハナギンチャク類	1種	イソ貝類	12種	ホヤ類	1種
ホウキムシ類	1種	巻貝類	22種	軟骨魚類	5種
		ヒガラガイ類	1種	硬骨魚類	188種
				カメ類	3種

資 料

◎ 1月の気象(09時観測)

为1水槽室(水温,比重はN024水槽)

	上旬	中旬	下旬
晴天日数:Z1	8	6	7
室温(°C)	$\frac{10.5 \sim 13.7}{12.1}$	$\frac{10.5 \sim 17.3}{12.9}$	$\frac{9.7 \sim 11.8}{10.5}$
水温(°C)	$\frac{14.82 \sim 17.30}{15.91}$	$\frac{14.62 \sim 17.92}{15.99}$	$\frac{13.68 \sim 14.92}{14.44}$
比重(°/5)	$\frac{24.42 \sim 25.42}{24.92}$	$\frac{24.89 \sim 25.35}{25.12}$	$\frac{24.81 \sim 25.55}{25.18}$

新館(水温)

	上旬	中旬	下旬
H水槽(°C)	$\frac{15.3 \sim 17.0}{15.9}$	$\frac{14.8 \sim 17.5}{16.2}$	$\frac{14.2 \sim 16.4}{14.9}$
T水槽(°C)	$\frac{15.4 \sim 17.5}{16.4}$	$\frac{14.4 \sim 18.2}{16.2}$	$\frac{13.8 \sim 17.0}{15.0}$

取入口

	上旬	中旬	下旬
水温(°C)	$\frac{14.75 \sim 17.50}{16.51}$	$\frac{15.34 \sim 18.28}{16.80}$	$\frac{14.25 \sim 16.54}{15.12}$
比重(°/5)	$\frac{24.90 \sim 25.67}{25.28}$	$\frac{25.22 \sim 25.69}{25.46}$	$\frac{25.22 \sim 25.51}{25.37}$

来 訪 録

- 月12日 自民党大野伴陸副総裁，小野真次衆知事および町田義友県会議長一行は
永白の途次来館。
- 月28日 動物写真作家岩合徳光氏来館，海産動物の写真撮影する。

昭和39年2月10日(N0137)

編集者
発行者

市 川 衛

発行者

瀬戸臨海実験所振興会
和可山県白浜町
瀬戸臨海実験所内
(Tel. 白浜温泉 3515)